

各位

久留米教務所長 武井 弥弘  
教区報恩講実行委員長 草野 信之

## 2017年度 久留米教区報恩講の厳修について

謹啓 時下各位におかれましては、ご清祥の御事と拝察いたします。

さて、来る2018年2月4日(日)に青少幼年報恩講を久留米組真教寺にて、続く7日(水)～8日(木)には教区報恩講を九州大谷短期大学にて、下記のとおり厳修いたします。

つきましては、一人でも多くの方々にご参詣いただき、宗祖のご生涯とみ教えにふれていただきたく、ご門徒をはじめ広く有縁の方々へお声掛けをいただきますとともに、是非ともご出仕賜りますようご案内申し上げます。

なお、お申し込みについては、各寺院・教会における参詣者数及び出仕者数等をおまとめいただき、下記申込書にご記入の上、**2018年1月18日(木)**までに各組長へご提出ください。

なお、今年度は当番法中組の曜日指定は行いません。また、お齋はございませんのでご注意ください。但し、昼食をご持参された団体(寺院・組)につきましては、大学食堂を食事会場として開放いたしますので、必要な場合は下記申込書にてお知らせください。

敬 具

### 教区報恩講(青少幼年報恩講)次第

期日	法要名	会場	開始時間	内 容		
				次第	和讃	回向
2月4日 日曜日	青少幼年 報恩講※3	久留米組 真教寺	10時00分	正信偈 草四句目下 同朋奉讃	弥陀成仏のこのかたは	願以此功德
			15時30分	正信偈 真四句目下 念仏讃洵五	弥陀大悲の誓願を 次第六首	願以此功德
2月7日 水曜日	教区報恩講 ※1	九州大谷 短期大学	13時30分 ※2	正信偈 真四句目下 念仏讃洵五	五十六億七千萬 次第六首	我說彼尊功德事
御 文 3帖目9通「鸞 聖 人」						
2月8日 木曜日			13時30分 ※2	文類偈 真四句目下 念仏讃洵五	弥陀大悲の誓願を 次第六首	願以此功德
				御 俗 姓		

※1. 教区報恩講では、『報恩講勤行集』(教区出版委員会発行)を用います。教務所の貸出用には、数に限りがありますので、寺院・教会において『報恩講勤行集』をお持ちの場合、参詣いただくご門徒の方々にそちらを持参いただけるようご案内ください。

※2. 出仕者控室は大谷講堂内にございます。開始時刻15分前より次第説明を行いますので、お時間には余裕をもってお越しください。

※3. 青少幼年報恩講の午前の法要は「子ども出仕」として、教区内の全ての小中学生有僧籍者に直接『ご案内状』を送付いたしております。又、午後の法要は、教区内の仏青世代を中心にお勤めいたします。

### 出仕者の衣体

期 日	法 要 名	開始時間	衣 体
2月4日(日)	青少幼年報恩講	10時00分始	白服・直綴・墨袈裟・安静型念珠・中啓
		15時30分始	白服・直綴・五条袈裟・半装束念珠・中啓
2月7日(水)・8日(木)	教区報恩講	13時30分始	白服・裳附・五条袈裟・差貫・半装束念珠・中啓

..... (キリトリ線) .....

### 2017年度 教区報恩講 参詣者及び出仕者申込書

組 寺・教会

日 程	開始時間	参詣者数	出仕者数	昼食会場の希望 (お齋の申込ではありません) ※希望される場合、○にてお知らせください
2月7日(水)	13時30分	名	名	希望する
2月8日(木)	13時30分	名	名	希望する

**注意事項** ●申込人数をご記入の上、**1月18日(木)までに**組長へご提出ください。

(組長各位は、組内寺院分の申込内容を取りまとめのうえ、別紙通知文(久留米教通第379号、12月26日付)の『報告書』にて、1月21日(日)までに教務所へ報告ください。)

●青少幼年報恩講への参詣、出仕は、同封の『青少幼年報恩講ポスター』を参照のうえ、別途久留米教務所までお知らせください。